



すり傷をキレイに治そう

気持ちの良いお天気には外で遊びたくなります。

外で遊ぶと、どうしても転んですり傷ができることがあります。

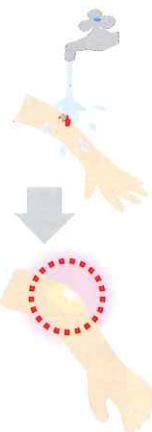
その時、どうやって手当していますか？

昔と今では治し方が違う！？

一昔前は、流水でよく洗ったあと、消毒したり赤チンを塗ったりして、化膿しないよう乾かした方が良い（ドライヒーリング）と言われていました。そうすると茶色いカサブタができるで傷が治るまで時間がかかり、あとが残ったりしました。

ところが、最近は正反対です。傷をしっかりおおって、傷から出る体液を逃さずカサブタを作らせず、傷をキレイに治す（モイストヒーリング）という考え方です。

えっ?
知らなんだ!



絆創膏は5日間貼ったまま！？

すり傷をしたあと、すぐに流水（水道水でよい）でよく洗い流してホコリや砂や異物を取り除く、ここまで今までと同じです。その後、消毒せずに、傷より少し大きめのハイドロコロイド素材の絆創膏を貼ります。貼った後、熱やかゆみや痛みがひどくならなければ、そのまま最大5日間貼りっぱなしにします。防水性なのでお風呂でもしません。途中、傷から体液が出てきて、ハイドロコロイド素材は白く浮き上がります。一生懸命傷が治ろうとしている証拠です。焦って早くはがすと、粘着力が強くて痛かったり、大事な成分も一緒に剥がれてしまいます。

傷の治りが早ければ、5日後にはがしたときキレイに治っています。はがしたときにまだ体液が出そうな状態で、その液が黄色かったり変な臭いがしているなければ、傷口を水道水で洗ったあと新しいものもう一度貼ります。

おすすめはハイドロコロイド素材

ギザギザした傷や、噛み傷、刺し傷等の深い傷は、菌が深くまで入ってしまうので、このような治し方はできませんが、転んだときのすり傷や、靴擦れ、あかぎれ、小さなやけど等は痛みもやわらぎ、キレイに治ります。

水に強くはがれにくい

ハイドロコロイド素材の絆創膏は、薬局・薬店で販売しています。普通の絆創膏よりも値段は高めですが、濡れるたびに傷がしみることもありませんし、1日に何回も貼り替える必要がありません。ただ、最大5日間貼り続けるので、傷には影響ないのですが、フチにホコリが着き、貼る場所によっては見た目が悪くなってくるかも。



薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎ 058-247-5122

協力／岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会

検索